

年頭ご挨拶

旧年中は大変お世話になりました。お陰様で、無事新しい年を迎えることができました。なによりもご支援いただきましたお客様各位、ご協力いただきました関係者の皆様、社員スタッフのおかげです。

誠にありがとうございます。

年明けには、株価の暴落、物価高騰など、うれしくないニュースが世界を駆け巡りました。紛争地ではまだまだおびただしい血が流されています。

困難な時代にこそ、この時代をしっかりと見据えて、次の時代の必要性和可能性を知り、必然の道筋を見出して、希望に心を躍らせることが必要です。

今は、1980年頃に始まった”社会参加する市民へ”という全世界をまきこんだ巨大なムーブメントが完成に向かって収束期に入ったところです。WEB2.0というものはその収束期の一つの現象に過ぎません。社会的参加はほぼ完成に近づき、社会に参加してしまった市民は、今や単に社会サービスを受け入れる受身の市民でい続けることはできません。2005年頃からはすでに、自分たちこそが社会サービスを提供する主体になろうとしています。次の時代、すなわち市民が社会サービスの担い手になる時代はもう始まっています。

食品、健康(医療)、介護の自助組織は2005年頃を境に大きく成長しました。2010年ころには、自警、防犯、などのための市民の自助組織が広がる時代が間もなくやってくるに違いありません。

2008年、すなわち今年は、昨年が続いて団塊の世代が大量に退職します。かれらは既存の組織を離れて市民主導の活動をますます盛り立ててゆくことになるでしょう。NPO法人を初めとして市民の自助組織が無数に生まれています。それらはすでに社会的サービスの一翼を担っています。社会的組織のロングテイル化と言ってよいでしょう。また、既存の企業や行政組織の中でも、これらの動きに刺激されながら、情報の共有、参加型の組織構造への変革はますます進むものと思われま

す。私たちは、市民の自助組織の活動を支援する新しいサービスに注力いたします。企業や行政に情報の共有、参加型の組織運営によりよく適合する新しい情報システムをご提供いたします。市民、民間の知恵と力を広く結集したり惹起

したりすることを目的としたパブリックツールサイトの構築や運営をお手伝いいたします。多数の人に安価に商品やサービスを提供する商用のWEBインフラの構築に工夫を凝らします。

本年も顧客の皆様のお役に立つことをひたすら追及し、取り組んでまいります。

私たちは、時代の流れを読み切り、その先を知って行動します。皆様によりチャンスが訪れるように今年も全力で汗をかき知恵をふりしぼります。良い汗は私たちにとってもきっと良いことに違いありません。

なまいきな言葉とは思いますが「最新の科学技術を万人のために」、私たちは設立時のこのモットーを今日も掲げ明日も掲げて、皆様とともに困難な時代の波頭に立つ決意です。

引き続き、皆様のご支援とご鞭撻を、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

2008年 元旦

株式会社サイエンスハウス
代表取締役 飯箸泰宏